

平成30年度 講座・聞こえと補聴器

実施日	2018年11月5日、11月12日、11月27日
場 所	横浜ラポール、戸塚公会堂

内容・報告

11月5日（月）、12日（月）、27（火）の3日間、横浜市障害者社会参加推進センター、横浜市中途失聴・難聴者協会、横浜市健康福祉局主催により「講座・聞こえと補聴器」が開催され、延べ107人が参加されました。本講座は例年3回とも横浜ラポールでの開催でしたが、今回は初の試みとして戸塚公会堂（11/12）でも行われました。5日と12日基礎講座として、横浜国立大学名誉教授 中川辰雄氏が「耳の仕組み、補聴器について」、当施設職員と横浜リハビリテーションセンターの言語聴覚士 和泉千寿世氏が「聞こえの相談事業について」の講義をしました。職員からは、聴覚障害者情報提供施設の役割や手話通訳および要約筆記者派遣制度として、手話通訳、要約筆記の派遣はどんな時に利用できるのか、利用の流れなどと、聞こえの相談事業についての話しをしました。参加者から通訳派遣の可能な時間帯について等の熱心な質問が多く寄せられ、関心の高さが感じられました。

27日は応用講座として横浜ラポールにて、全日本難聴者・中途失聴者団体連合会 小川光彦氏の「難聴・補聴器について」と、東京医科大学教授 河野敦氏による「難聴あれこれ、人工内耳」のテーマで行われました。

横浜ラポール



戸塚公会堂